

Global Research
January 23, 2023

Situation for Kiev Is "Very, Very Difficult".
US Joint Chiefs of Staff, Mark Milley

米統参議長マーク・ミレーが語る 「キーウの状況は最悪だ」

<https://www.globalresearch.ca/situation-kiev-very-very-difficult-us-top-general/5805655>

By Lucas Leiroz de Almeida
(Staff researcher in Social Sciences at the Rural Federal University of Rio de Janeiro; geopolitical consultant)

* 軍事的解決はもう無理だ

米国統合参謀本部のマーク・ミリー議長は、「現在の対ロシア紛争において、ウクライナは軍事的目的を達成するために多くの問題に直面している」と述べた。

彼は次のように指摘する。

「西側の指導者たち、そしてゼレンスキー大統領でさえも、その好戦的な演説にもかかわらず、こう考えている。この紛争は武力ではなく、外交的な交渉によって解決されるだろうと」

ミリー議長は軍事作戦によってウクライナが勝利する可能性には低いと考えているようだ。

* 「独立」した東部諸州はもはや取り返せない

ミリー議長はまた、戦闘状態を終わらせる見通しについてもコメントした。ウクライナや西側の政治家の中には、できるだけ早くロシア軍を追放する計画を主張する人もいるが、彼はこの考えには否定的だ。彼はこのプロセスが2023年までに完了する可能性はないと考えている。

ロシア連邦に新たに統合された地域では、すでにロシア軍が堅固な地位を維持している。このことから、よほどの急速かつ強力な軍事作戦を立てない限り、東部地域の支配をキエフにとりもどすのは困難だ。

* 侵入したロシア軍を追い出すことはできない

ミリー議長はインタビューにこう答えている。

「バイデン大統領、ゼレンスキー大統領、そしてヨーロッパの指導者のほとんどが、この戦争は交渉によって終わらせることになるだろう...

軍事的な観点からは、この戦争はとんでもなく困難な戦いである (this is a very, very difficult fight) ...

今も私は考えている。ロシアが占領しているウクライナ領土から、ロシア軍を軍事的に追い出すことは、とてもとても困難であると...

もちろん、だからといって、実現できないわけでも、諦めたわけでもない。でもとても難しいことだ...

***1 千億ドル以上の援助もロシア優位を崩せなかった**

ミリー議長の見方は現実的である。

キーウ政府には本質的な弱点がある。欧米の援助があるとはいえ、ウクライナの弱点はそう簡単には克服できない。そのことを彼は明言している。

米国はすでにキエフに 1100 億ドル以上の軍事支援を送った。重火器、戦闘車両、対空システム、100 万発以上の砲弾を含むパッケージを提供した。

ヨーロッパと NATO の同盟国も、ウクライナのネオナチ政権を全力で援助している。

しかしそれにも関わらず、ロシアの軍事的優位は明らかだ。モスクワは最近ソレダーとクレシェフカの奪取など、ますます重要な勝利を飾っている。

*** ロシアの補給線へのミサイル攻撃が奏功している**

欧米の強力な支援にもかかわらずロシアが成功しているのには、多くの要因がある。

モスクワの作戦の要諦は、ロシアの兵士や民間人を不必要に殺すような消耗戦を避けることである。

そのために、ウクライナ軍の補給線を形成する重要地域への重点的攻撃を行っている。これがロシア軍の戦略的な方向付けである。

ロシアの重火器・ミサイルは大規模な軍事地帯やインフラ施設に集中している。

民間軍事会社「ワグネル・グループ」などの並列部隊はこの射撃部隊を保護するため、主に都市部で歩兵部隊の役割を果たしている。

*** ウクライナ軍は無秩序で腐敗している**

一方、キエフは紛争を戦略的に管理することが困難となっているように見える。

現場の複数の情報提供者がすでに報告しているように、ウクライナ軍は無秩序と腐敗が目立っている。 NATO の支援も役立っているとは言えない。西側諸国の兵器のほとんどはウクライナ兵にとって全く新しいものであり、兵はその正しい操作方法を知らず、しばしばオウンゴールをもたらしている。

*** ウクライナ軍は無駄死にを繰り返し、消耗している**

さらに悪い事情がある。ウクライナ軍指揮官はロシア軍と異なり、人命よりも領土を優先する傾向がある。

モスクワはしばしば、人命救助のために戦略的撤退を促すが、これに対しキエフ軍は戦いが事実上敗北していても塹壕に兵を留める。その結果、何千人もの兵士が不必要な戦闘で死亡している。

これらの死んだ兵士の穴埋めは、十分な訓練を受けておらず、軍事的な経験もない新しい戦闘員で代替される。

その結果、ルーキーたちは戦略的なミスを犯し、さらに多くの死者を出すことになる。

*** ウクライナ軍の最新兵器はロシア系市民殺害に用いられている**

さらに、2014 年以降、キエフ軍が意図的に民間人を攻撃していることを指摘して置かなければならない。その傾向は、欧米から殺傷力の高い重火器が国内に到着するにつれて、ますます悪化している。

ウクライナ軍に配備された装備は、その多くがドンバスの非武装化地域で、ロシア系市民を殺害するために、それだけのために使用されている。

欧米の軍事援助がウクライナ紛争に負の影響を与えていることが、この紛争をさらに複雑にしている。

*** NATO の直接介入は核戦争をもたらすだろう**

実際、ミレー統幕議長の発言は、軍事専門家の間ですでに一定の結論となっていることを追認するものだ。

キエフはロシアに勝つことができない。

なぜなら、モスクワは軍事的により強力であるからだ。さらにウクライナ側には、戦闘を続けるための組織的・管理的能力がない。

もし軍事的な逆転の可能性があるとすれば、それは NATO がより直接的に介入するシナリオの場合のみである。しかし、この場合、戦争は確実に核兵器レベルまでエスカレートし、戦いは勝者なしに終わることになるだろう。

*** ロシアの停戦条件を全面的に受け入れるほかない**

近い将来の可能性としては、ロシアの勝利だけが現実的なシナリオに見える。ベストなのは、キエフがロシアの停戦条件を全面的に受け入れて、協議を再開することである。

ミレー議長がそれを示唆したが、同じように西側の政治家たちも考えている。

しかし彼らは、ウクライナがずたずたになるまでは、あらゆる形の援助を続けようとしている。紛争を通じて、ロシアの戦略的環境をできるだけ不安定にするためである。

たとえそのために、ウクライナ人の命が犠牲になっても、そんなことは気にしない。